

令和 7 年度 静岡大学教育学部附属島田中学校 理科教科研究会

研究テーマ 問いを見出す授業過程 ～主体的に問いを見出し追究する生徒の育成～

科学的探究の入り口である問いの見出しに焦点をあて、「学習者自身が問いの見出しに関与することで、問題解決の動機が高まり、主体的に取り組む態度が向上するのではないか」と仮説を立て研究を進めています。多様な考え方をもつ地域の先生方とのつながりを活かして、魅力的な授業の実践を目指します。先生方と理科の授業について語り合えたらと考えておりますので、下記、教科研究会へのご参加を、よろしくお願いします。

11月20日(木)

会場：静岡大学教育学部附属島田中学校

受付 12:30 ～ 13:00

公開授業 13:10 ～ 14:00 (授業Ⅰ) (静岡大学教育学部准教授)

14:10 ～ 15:00 (授業Ⅱ)

研究協議会 15:20 ～ 16:30

共同研究者

延原 尊美

(静岡大学教育学部教授)

郡司 賀透

(静岡大学教育学部准教授)

研究協力員

長谷川 義訓

(藤枝市立高洲中学校教諭)

松下 佳史

(掛川市立東中学校教諭)

鈴木 拓実

(島田市立六合中学校教諭)

公開授業Ⅰ 1年生 授業者：松浦 昭彦

「光と見えているものとの関係」は、身近であるからこそ突き詰めて考えることの少ない事象です。光に起こる変化と見えているものの変化を少しずつ比較することで違いを明らかにしていきます。「虫メガネとできる像の見え方」について生徒が問い(仮説)を立て追究していきます。



公開授業Ⅱ 2年生 授業者：大久保正樹

「日本の異常気象はなぜ増えているのか？」を出発点に、生徒自身が気象庁データや身近な天気をもとに考察します。豪雨や猛暑の要因を読み解き、仲間とともに日本の気候の特徴を探りながら、納得のいく説明へと迫っていく探究的な授業を目指します。



【お問い合わせ】 教科研究会への参加申し込みは右のQRコードまたは本校HPより

静岡大学教育学部附属島田中学校

〒427-0041 静岡県島田市中河町 169 番地 TEL:0547-35-6500

<https://fzk.ed.shizuoka.ac.jp/shimachu/>

